

令和 6 年度全国学力・学習状況調査の調査結果について

令和 6 年 4 月 18 日（木）、全国の小学校第 6 学年及び中学校第 3 学年の全児童生徒を対象に実施された令和 6 年度全国学力・学習状況調査の調査結果が 7 月 26 日（金）、国立教育政策研究所から公表されました。

この調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するために実施するものです。

各教科の平均正答率（％）の比較

	豊栄中	東広島市	広島県	全国
国語	46.2	61.2	58.0	58.1
数学	37.0	55.4	51.6	52.5

各教科の無解答率（％）比較

	豊栄中	東広島市	広島県	全国
国語	0.5	2.6	3.4	3.9
数学	1.9	7.9	10.0	11.3

1 国語の調査結果の概要

本校の平均正答率は、学習指導要領の内容における「知識及び技能」の(3)我が国の言語文化に関する事項のみが、県・全国平均と同程度である。しかし、学習指導要領の内容における(1)言葉の特徴や使い方に関する事項、(2)情報の扱い方に関する事項は、いずれも50％程度で市・県・全国平均を10ポイント程度下回っており今後の課題である。学習指導要領の内容における「思考力、判断力、表現力等」のA話すこと・聞くこと、C読むことは、いずれも30％代半ばの値であり今後の課題である。また、評価の観点における知識・技能及び思考・判断・表現も市・県・全国平均を10ポイント程度下回っており今後の課題である。無解答率は、市・県・全国平均を大幅に下回っており、生徒が意欲的に問題に向き合おうとする姿が読み取れる。

学習指導要領の内容並びに評価の観点及び問題形式における各区分の平均正答率（％）

分類		区分	豊栄中	東広島市	広島県	全国
全体			46.2	61.2	58.0	58.1
学習指導要領 の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	48.7	60.6	58.0	59.2
		(2)情報の扱い方に関する事項	50.0	61.4	59.2	59.6
		(3)我が国の言語文化に関する事項	76.9	84.3	77.8	75.6
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	35.9	61.1	59.4	58.8
		B 書くこと	57.7	69.6	66.1	65.3
		C 読むこと	36.5	51.7	47.5	47.9
		評価の観点	知識・技能	53.8	64.8	61.7
思考・判断・表現	41.0		58.8	55.6	55.4	
主体的に学習に取り組む態度	—		—	—	—	
問題形式	選択式	47.9	63.7	60.4	61.0	
	短答式	46.2	65.4	62.0	61.8	
	記述式	41.0	49.6	47.1	45.5	

2 数学の調査結果の概要

学習指導要領の領域における全領域が、市・県・全国平均を15～20ポイント程度下回っている。特に、A数と式はおおよそ30％の値、B図形は20％後半の値、C関数、Dデータの活用はいずれも40％代半ばの値であり今後の課題である。評価の観点における知識・技能、思考・判断・表現も市・県・全国平均を15～20ポイント程度下回っている。特に、知識・技能は40％後半の値、思考・判断・表現は15.4％と20％未満の値であり今後の課題である。無解答率は、市・県・全国平均をともに大幅に下回っており、生徒が意欲的に問題に向き合おうとする姿が読み取れる。

学習指導要領の内容並びに評価の観点及び問題形式における各区分の平均正答率（％）

分類	区分	豊栄中	東広島市	広島県	全国
学習指導要領 の領域	全体	37.0	55.4	51.6	52.5
	A 数と式	30.8	53.8	49.4	51.5
	B 図形	28.2	42.0	39.3	40.3
	C 関数	44.2	64.4	60.1	60.7
	D データの活用	44.2	58.5	55.0	55.5
評価の観点	知識・技能	46.9	65.1	61.9	63.1
	思考・判断・表現	15.4	34.0	28.8	29.3
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—
問題形式	選択式	46.2	61.4	57.7	58.5
	短答式	47.4	68.2	65.4	67.0
	記述式	15.4	34.0	28.8	29.3

3 生徒質問紙の回答結果の概要

① 規則正しい生活を身に付ける

規則正しい生活は、成長過程の生徒にとって非常に重要です。生活リズムが乱れると体調を崩しやすくなるだけでなく、日常生活の様々な場面に悪影響が出ます。そこで、一日の活動の源となる朝食をきちんと摂ることを前提として、「三点（起床時刻、学習開始時刻、就寝時刻）固定」し、規則正しい学習習慣を身に付けさせる必要があります。固定する三つの時刻は、いずれも一日の中で自分の意思で時刻を決めることができるものであることから、自分で時刻を固定し生活を規則正しくすることは、自分自身をコントロールする力の育成につながります。自分自身をコントロールする力は、学習はもちろん社会人になったときも欠かせないとても重要な能力の一つです。

関連する質問事項の肯定的回答の割合（％）

質問番号	質問事項	豊栄中	広島県	全国
(1)	朝食を毎日食べていますか	92.3	91.4	91.1
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	77.0	82.8	80.7
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	76.9	92.8	92.5

② 自己肯定感・自尊感情を高める

これからのグローバルな時代を生きていく生徒たちが、国際社会で活躍し、豊かな社会を形成していくためには、生徒たちが自分のよさに気づき、自信をもち、他者と積極的に関わって豊かな人間関係を築いていく力を高めることが大切です。その土台となるのが、自己肯定感・自尊感情です。これらは、他者と比較することなく、自分自身が「今の自分」を認め尊重（肯定）することで生まれる感覚であり、物事を前に進めるための原動力となります。

関連する質問事項の肯定的回答の割合（％）

質問番号	質問事項	豊栄中	広島県	全国
(9)	自分には、よいところがあると思いますか	53.9	84.5	83.3
(10)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	84.6	90.0	90.4
(11)	将来の夢や目標を持っていますか	61.6	67.9	66.3
(12)	人が困っているときは、進んで助けていますか	92.3	89.7	90.1
(13)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	100.0	96.3	95.7
(15)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	84.6	95.5	95.2
(18)	友達関係に満足していますか	100.0	90.9	90.1

③ 自ら考え、判断し、表現する

急速に社会が変化する中、これからを生き抜く子供たちには幅広い知識とともに、柔軟な思考に基づく判断や他者との共存など、変化に対応する能力が求められています。これからの社会で主体性をもって活動していくためには、学び得た知識や情報を基盤としながら、自ら考え、判断し、表現する力を育んでいくことが必要となります。

関連する質問事項の肯定的回答の割合（％）

質問番号	質問事項	豊栄中	広島県	全国
(17)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	61.6	76.4	76.2
(25)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	61.6	75.9	76.1
(33)	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	61.6	86.7	86.1
(40)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	76.9	82.1	80.6